

バグダッド日誌(7月6日)

○ショー・ザ・フラッグ

本日の朝の指揮官報告(BUA)において各コアリション・フォースの人員数が報告されたが、このなかで日本の人員数が5名となっており早速訂正に行ってきた。報告の際にもケーシー大將がすぐ数字に間違いがあると感じたらしく、コアリション・オペレーション部長 [REDACTED] に調べ直すように指示していた。

MNF-Iとして数える勢力は、イラクに所在する人数のみで、クウェートに所在する人数は計上されない。このためイラク復興支援群撤収後は、本日のBUAで報告されたように、バグダッド連絡班の5名のみがコアリション・フォースとして計上されることになる。

[REDACTED]

日本の撤収が正式に決定された時、[REDACTED] がすかさず「日本のバグダッド連絡班は残るのか？」と聞かれた理由が分かった気がする。もし日本からバグダッドに連絡班が派遣されない時はMNF-Iから旗が一つ消えることを意味するからである。

今後もバグダッド連絡班が「ブーツ・オン・ザ・グラウンド」し続ける限り、MNF-Iの一員として「ショー・ザ・フラッグ」できる存在感を改めて認識している。

[REDACTED]



バスラLO日々業務報告(7月6日1900)



区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [REDACTED] [REDACTED] (警戒態勢) : [REDACTED]
2 特記事項	(1) [REDACTED] (2) [REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [REDACTED] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 航空輸送調整等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 航空輸送調整等
5 その他(備考)	